



大いなる多摩学会共催

多摩大学 グローバルスタディーズ学部 地域連携市民講座

地域から世界を見る—『イマ・ココ・ワタシ』を超えて、共に生み出す未来へ

いよいよ「東京2020オリンピック・パラリンピック」開催の年となりました。世界の人々を迎えるため、藤沢市では多くの組織・団体が準備を進めてきました。私たちは、ここで改めて地域と世界とのつながりについて検討してみたいと思います。

グローバル化が進む一方で、「イマ・ココ・ワタシ」を優先する内向き志向のメンタリティが社会を取り巻いています。また、地域は少子高齢化、外国籍住民の増加など、様々な課題に直面しています。現在求められるのは、地域住民だけでなく、短期的な訪問者や移住者、企業・学校など多様なアクターが共に地域を生み出していくことです。そこには時間的な他者である「歴史」、空間的な他者である「異文化」との出会いがあります。本講座では、大学生・高校生が地域でのフィールドワークを通じて出会った歴史・文化の異なる「他者」との共生の取組みについて報告します。「イマ・ココ・ワタシ」を超えて、多様な他者と共に生き、共に生み出す未来を考えてみましょう。

時間	演題・登壇者(敬称略)
13:00-13:05	開会の辞 安田震一 多摩大学副学長
13:05-13:15	テーマ紹介 田中孝枝 多摩大学専任講師
13:15-14:10 (55分)	<第1部> 『藤沢と戦争—SGSプロジェクトゼミのリサーチから見えてきたこと』 藤田賀久 多摩大学非常勤講師 『地域を歩いて見えてきた過去と現在』 多摩大学学生
14:20-15:40 (80分)	<第2部> 『いちょう団地に至る背景—インドシナ内戦』 藤田賀久 多摩大学非常勤講師 『いちょう団地でのゼミ活動』 田中孝枝 多摩大学専任講師 『団地の多文化・多世代共生—いちょう団地での活動報告』 多摩大学学生
15:50-16:55 (65分)	<第3部> 『わたしたちが住み、学び、働く地域を考える—横浜大空襲フィールドワーク報告』 『他者の痛み、わたしの痛み—首里城復元湘南台街頭募金報告』 谷口天祥 藤沢翔陵高等学校教諭 『横浜大空襲踏査、首里城応援の活動から感じたこと、考えたこと』 藤沢翔陵高等学校生徒
16:55-17:00	閉会の辞 安田震一 多摩大学副学長

【会場】藤沢商工会館 ミナパーク 5階 502号室

【時間】2020年3月14日(土)13:00-17:00

【費用】無料

【対象】藤沢市在住・在勤・在学の方

【申込方法】FAX、Eメールにて住所・氏名・年齢・職業・電話番号をご記入の上お申込みください。

【申込締切】3月7日(土)

【申込先】多摩大学 湘南キャンパス事業推進室
〒252-0805 藤沢市円行802
Tel:(0466)82-3331 Fax:(0466)82-5070
E-Mail: sgs-pro@gr.tama.ac.jp

